

SAPPORO
TENJINYAMA
ART STUDIO
ANNUAL REPORT
(April 2020 - March 2021)

さっぽろ天神山アートスタジオ 2020年度記録集



東京の未来を
つくる。未来を
つくる。未来を

さっぽろ天神山アートスタジオ2020年度活動記録集だってオンライン

2020年は世界中の人にとって忘れられない一年となりました。なるべく人と会わず家の中でささやかな楽しみを見つける。他者と話したり共同で仕事をする場合は、インターネットでの繋がりが不可欠となり、eメールやチャットサービス、音声通話、ビデオ会議サービスを使わなければ、人と会い、話したり聞いたり感じたりすることが難しくなりました。この記録集も2020年のさっぽろ天神山アートスタジオの活動のように、リアルな現場とオンライン（インターネットを介して情報にアクセスする）を組み合わせた構成になっています。ページごとに文字（テキスト情報）などの膨大な画像や動画・音声はQRコードで該当するホームページにつながる仕組みです。ホームページではプログラムごとに関連する情報をアーカイブとして見ることができます。

これまでQRコードからホームページ上の情報を見たことがない人やスマホを使っていない人は、身近な人や、いま目の前か隣に座った若い人に使い方を聞いてみてください。きっと、あなたの「教えて」にその人なりに心を傾けて向き合ってくれるでしょう。知らない、やったことがない、みたことがないという体験は、いま起こっている新しいつながりとの出会いに転じます。まずは話しかけてみる。これはこれまで知らなかったさっぽろ天神山アートスタジオ、様々なアーティスト、ありとあらゆるタイプのアート、作品や出来事や状況と出くわすのとおなじなんです。

アーティストへの支援とアートプロジェクト

さっぽろ天神山アートスタジオは、アーティスト・イン・レジデンス（以下、AIR）拠点です。AIRは、アーティストの創造的活動を支援する文化芸術分野の制度です。さっぽろ天神山アートスタジオは、札幌市内で活動を行うための基盤を「滞在型スタジオ」「活動への専門的で多様なヘルプ」の形で提供しており、このチャンスはアーティストであればだれにでも開かれています。より多くの、より様々な活動をするアーティストが札幌市内に滞在することで、将来、札幌市内はもちろん、日本国内、世界でより多くの人がそのアーティストの作品やプロジェクトに鑑賞や参加といった形で出会うチャンスも同時に創っています。AIR制度は、アーティストにだけ恩恵があるものではありません。現場では上記のような分野的視点の成果に加え、また別の質の異なる相互作用を実感します。他者との出会いが視野を広げたり行動範囲が変化したりと、生活や考え方にささやかだけれど興味深い影響を与えることがあるなどといったことです。もっとも、変化を求めているタイプの人にとっては必要のないことかもしれません。

AIRは創造的活動をする人の支援が目的で、アートプロジェクトは別の目的の優先順位が高いものと言えるでしょう。AIRのアーティストがアートプロジェクトを実行するという一見ややこしいパターンがありますが、これはAIRで支援されているアーティストが、アートプロジェクトを実行しようとする、またはしているというシンプルな構造です。AIRの支援対象はアーティストそのものです。ですから、さっぽろ天神山アートスタジオでは滞在したアーティストごとに、それぞれ異なるアートプロジェクトが関連づいているのです。2020年度はアーティストが札幌になかなかどりつけなくて、実際にさっぽろ天神山アートスタジオに滞在したアーティストはこれまでの年と比較するとその数がぐっと小さくなりました。けど、それに反比例してアートプロジェクト（作品・公演など）はそのひとつひとつがぐっと密度の高い内容でした。アーティストに限ったことではありません、変化に向き合う時に自然に発揮されるのは創造力だからでしょう。

生活の勝手が大きく変わった2020年度を振り返ったとき、私たちの得たものは半径2メートルの現実と果てのない想像とが合わさって混沌そのものでした。変化の真っ只中にいた去年はなにがなんだかわかりませんでした。2年目をしばらく生きてようやく、アーカイブにそって1年前をたどってみてずいぶんおもしろかったかも、と考え始めています。

あなたはどうか？ なにも変わらなかったでしょうか？

AIR ディレクター 小田井 真美



Artists & Events Record

2020 年度滞在アーティストデータ

イベント

日時 / イベント種類 (公開制作 / アーティスト・トーク / 写真展 / 滞在成果展 / ワークショップ等) / タイトル / アーティスト名 / 企画など / 場所

滞在アーティスト

アーティスト名 (日本語表記) / アーティスト名 (アルファベット表記) / 活動拠点 / 活動分野 / 活動内容

2020
04
April

4月14日(火) - 5月31日(日) 臨時休館

●新型コロナウイルス対策のための特別措置法に基づき、4月16日(木)から全国を対象に緊急事態措置が適用され人々の行動が制限された。北海道札幌ではこれより早く独自に4月12日の北海道・札幌市緊急共同宣言が発出、4月14日(火)から当施設は休館することとなった。
●天神山緑地も同期間立ち入りが制限されたため、植物と動物、野鳥たちが春を謳歌していた。●帰国できないアーティストが足止めされた。
●AIR Network Japanの数人によるミーティングが始まる。●「札幌の文化芸術活動のいまとこれからのための調査プロジェクト」が始動した。



ビクトール・デ・ラ・フエンテ / de la Fuente, Víctor / スペイン / 美術、映像、その他 / 創作活動、リサーチ

長坂 有希 / Nagasaka, Aki / 大阪府 / 美術 / 創作活動、その他

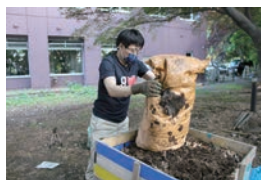
坂口 千秋 / Sakaguchi, Chiaki / 東京都 / 美術 / リサーチ、その他

矢野 杏子 / Yano, Kyoko / 東京都 / 演劇 / 公演「AND 復活公演『仮想クラブ』」 / 演劇専用小劇場 BLOCH(公演中止)

2020
05
May

●地域コーディネーター小林亮太郎、花田悠樹を中心に土づくりに軸をおいた今季の「庭プロジェクト」がスタート。●4月に天神山アートスタジオから移動できなかったアーティストがそれぞれ帰宅し始める。●天神山アートスタジオ前の日本庭園にある梅の木から熟した実を収穫、庭に生えていた赤紫蘇をいれた梅干しづくりを決意。

【庭P】動画



Artists & Events Record

2020 年度滞在アーティストデータ

イベント

日時 / イベント種類 (公開制作 / アーティスト・トーク / 写真展 / 滞在成果展 / ワークショップ等) / タイトル / アーティスト名 / 企画など / 場所

滞在アーティスト

アーティスト名 (日本語表記) / アーティスト名 (アルファベット表記) / 活動拠点 / 活動分野 / 活動内容

2020
04
April

4月14日(火) - 5月31日(日) 臨時休館

●新型コロナウイルス対策のための特別措置法に基づき、4月16日(木)から全国を対象に緊急事態措置が適用され人々の行動が制限された。北海道札幌ではこれより早く独自に4月12日の北海道・札幌市緊急共同宣言が発出、4月14日(火)から当施設は休館することとなった。
●天神山緑地も同期間立ち入りが制限されたため、植物と動物、野鳥たちが春を謳歌していた。●帰国できないアーティストが足止めされた。
●AIR Network Japanの数人によるミーティングが始まる。●「札幌の文化芸術活動のいまとこれからのための調査プロジェクト」が始動した。



ビクトール・デ・ラ・フエンテ / de la Fuente, Víctor / スペイン / 美術、映像、その他 / 創作活動、リサーチ

長坂 有希 / Nagasaka, Aki / 大阪府 / 美術 / 創作活動、その他

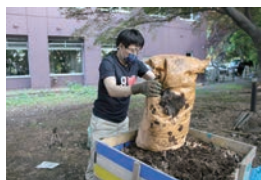
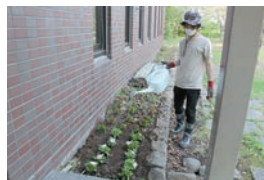
坂口 千秋 / Sakaguchi, Chiaki / 東京都 / 美術 / リサーチ、その他

矢野 杏子 / Yano, Kyoko / 東京都 / 演劇 / 公演「AND 復活公演『仮想クラブ』」 / 演劇専用小劇場 BLOCH(公演中止)

2020
05
May

●地域コーディネーター小林亮太郎、花田悠樹を中心に土づくりに軸をおいた今季の「庭プロジェクト」がスタート。●4月に天神山アートスタジオから移動できなかったアーティストがそれぞれ帰宅し始める。●天神山アートスタジオ前の日本庭園にある梅の木から熟した実を収穫、庭に生えていた赤紫蘇をいれた梅干しづくりを決意。

【庭P】動画



2020
06
June

2020年6月17日(水)

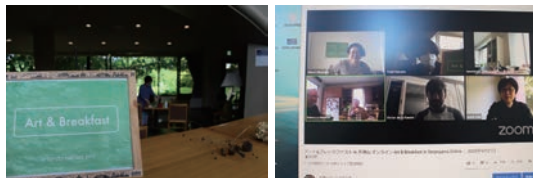
イベント / 水曜シェアリング / セルフファンディング滞在者 / 談話交流

2020年6月21日(日)

Art&Breakfast / Art&Breakfast Day6月 / 市民交流事業 / オンライン

2020年6月21日(日)

トーク / A&B 6月アーティストトーク / ピクトール・デ・ラ・フエンテ / オンライン

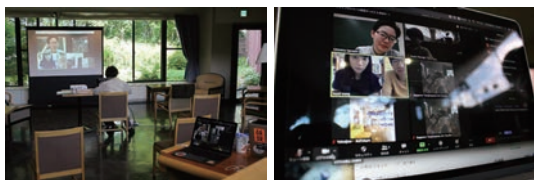


状況を慎重に観察しながらアーティスト・イン・レジデンス拠点としての運営を止めないことを決める。

●前年度中に作成した年間事業計画を大幅に変更。●6月2日(火)施設利用再開、交流スタジオの利用受付を再開。●「札幌の文化芸術活動のいまとこれからのための調査プロジェクト」のオンラインアンケート調査結果がまとまり、急速、札幌の文化芸術活動をする人たちにより札幌市へ支援対策を盛り込んだ提言書が提出された。

2020
07
July

7月10日(金) 滞在スタジオ 北海道在住者の受入れを再開。



2020年7月19日(日)

Art&Breakfast / Art&Breakfast Day7月 / 市民交流事業 / オンライン

2020年7月19日(日)

トーク / A&B 7月アーティストトーク / ウォン・メイ・イン、チャン・マン・チュン / オンライン

2020年7月26日(日)

イベント / 交流会 / 福田ハジメ / セルフファンディング滞在者 / 談話交流



福田 ハジメ / Fukuda, Hajime / 札幌市 / 音楽 / 創作活動

上ノ 大作 / Ueno, Daisaku / 北広島市 / 工芸 / 創作活動、その他

[インタビュー動画の紹介]



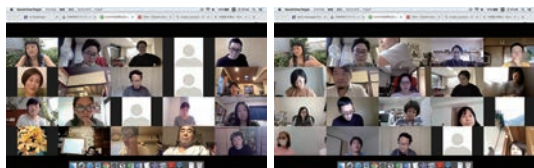
さっぽろ天神山アートスタジオでは、2016年度の自主事業招聘アーティストのアーティスト・イン・レジデンス事業の成果のひとつとしてインタビュー動画を作成し公開しています。2018年度以降は、アートとリサーチセンターの活動のひとつとして文化庁支援を得て、自主事業の招聘アーティストに限らず、さっぽろ天神山アートスタジオにセルフファンディングで滞在制作活動を行ったアーティストの活動調査としてインタビュー動画を作成しています。これらの動画は AIS プランニングが運営する YouTube チャンネルで見ることができます。

[Art & Breakfast Day in 天神山 オンライン!]

2020年度はオンラインでのイベント運営、アーティスト・イン・レジデンス事業運営の試みが突如スタートした一年でした。さっぽろ天神山アートスタジオの定番のイベントとして好評だった Art & Breakfast Day in 天神山もオンラインイベントとして実験的に再開したところ、過去の滞在アーティスト、海外からの参加者も得て新しい展開が生まれました。

2020
08
August

8月1日(土) 滞在スタジオ 北海道外・
国内居住者の受入れを再開。



2020年8月7日(金)

イベント / 国内 AIR 運営者、AIR 運営を計画している団体・個人による情報交換、意見交換のためのオンライン・ミーティング
[アーティストはいまどうしているか? トークゲスト: 荒木悠さん @YouTube] / オンライン

2020年8月8日(土)

イベント / 国内 AIR 運営者、AIR 運営を計画している団体・個人による情報交換、意見交換のためのオンライン・ミーティング
[AIR 関係者によるオンライン・ミーティング @zoom] / オンライン

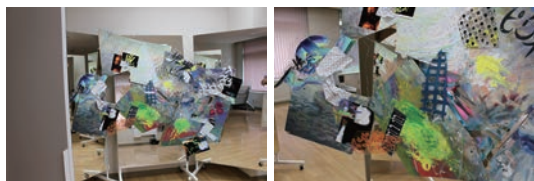
2020年8月12日(水)

イベント / 水曜シェアリング / セルフファンディング滞在者 / 談話交流



2020年8月13日(木)

公開制作 / オープンスタジオ / 植松友紀、梅原龍之介、長友健佑 /
セルフファンディング滞在者 / 交流スタジオ



2020年8月14日(金)

展示 / 滞在成果展「キョウソウ」 / 植松友紀、梅原龍之介、長友健佑 /
セルフファンディング滞在者 / 交流スタジオ



2020年8月17日(月)

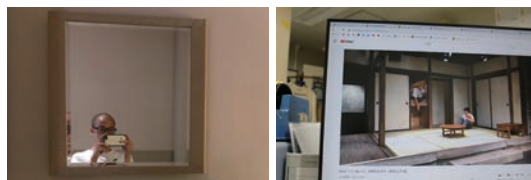
イベント / 第22回 シドニー・ビエンナーレを読み解く《連続オンライントーク》 vol.1 「第22回シドニー・ビエンナーレのテーマ『NIRIN』と注目作家」

2020年8月27日(木)

イベント / 第22回 シドニー・ビエンナーレを読み解く《連続オンライントーク》 vol.2 「参加アーティスト、マユンキキが見たシドニー・ビエンナーレ」

2020年9月7日(月)

イベント / 第22回 シドニー・ビエンナーレを読み解く《連続オンライントーク》 vol.3 「シドニー・ビエンナーレの意義と国際展の未来」



国内 AIR ミーティング



●天神山アートスタジオ前の日本庭園の池にいた金魚が見事に繁殖していることが発見される! ●恒例の国際公募 AIR プログラムはオンライン(日本への入国はなし)だが、なんとか実施できることになり公募を開始。

平塚 直隆 / Hiratsuka, Naotaka / 愛知県 / 演劇 / 公演「名もなく貧しく美しくもなく」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ

山田 百次 / Yamada, Momoji / 東京都 / 演劇 / 公演「フレップの花、咲く頃に」 / かでる 2・7

梅原 龍之介 / Umehara, Ryunosuke / 東京都 / 美術、映像 / 創作活動

長友 健佑 / Nagatomo, Kensuke / 東京都 / 美術、デザイン / 創作活動

植松 友紀 / Uematsu, Yuki / 神奈川県 / 美術、デザイン / 創作活動

池田 剛介 / Ikeda, Kousuke / 京都府 / 美術 / リサーチ

山西 杏奈 / Yamanishi, Anna / 京都府 / 美術 / リサーチ

小島 柚穂 / Kojima, Yuzuho / 札幌市 / 美術 / 展示「IFUJI GALLERY」
京料理・鍋物 いふじ

藤田 冴子 / Fujita, Saeko / 札幌市 / 美術 / 展示「WASHING MY PANTY」/TOOV cafe gallery

真砂 雅喜 / Masago, Masayoshi / 札幌市 / 美術 / 創作活動

廣瀬 利勝 / Hirose, Toshikatsu / 富良野市 / 演劇 / 公演「名もなく貧しく美しくもなく」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ

福田 ハジメ / Fukuda, Hajime / 札幌市 / 音楽 / 創作活動

植野 智子 / Ueno, Tomoko / 埼玉県 / 美術 / 創作活動

青木 尚哉 / Aoki, Naoya / 東京都 / ダンス / 講演「佐川君からの手紙」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ (公演中止)

増澤 ノゾム / Masuzawa, Nozomu / 東京都 / 演劇 / 公演「父と暮せば」 / 札幌シアター ZOO

木沢 真紀子 / Kizawa, Makiko / 愛知県 / 音楽 / 公演「ボン・フェスティバル・オーケストラ」 / ちえりあホール

2020
09
September



9月19日(土) 交流スタジオ 利用人数制限の緩和。

2020年9月16日(水)

イベント / 水曜シェアリング / セルフファンディング滞在者 / 談話交流



2020年9月20日(日) - 9月22日(祝)

イベント / 第7回天神山文化祭 2020ONLINE 「いけばな展示」 / 市民交流事業 / 展示スペース

2020年9月22日(祝)

Art&Breakfast / アトブレ会議オンライン with 三田村光土里さん / 三田村光土里 / オンライン (非公開)

矢藤 智子 / Yato, Tomoko / 京都府 / ダンス / リサーチ

佐藤 ヒロカ / Sato, Hiroka / 岡山県 / 美術、文芸 / 創作活動

東海林 靖志 / Shoji, Yasushi / 幕別町 / ダンス / 飛生芸術祭 2020

平原 慎太郎 / Hirahara, Shintaro / 神奈川県 / ダンス / 飛生芸術祭 2020

渡辺 はるか / Watanabe, Haruka / 神奈川県 / ダンス / 飛生芸術祭 2020

村井 玲美 / Murai, Remi / 東京都 / ダンス / 飛生芸術祭 2020

大西 彩瑛 / Onishi, Sae / 京都府 / 美術 / リサーチ

前田 真治 / Maeda, Shinji / 東京都 / 美術 / 創作活動

今村 洋介 / Imamura, Yosuke / 兵庫県 / 創作活動

吉田 孝行 / Yoshida, Takayuki / 東京都 / 映像 / 創作活動、リサーチ

小林 耕二郎 / Kobayashi, Kojiro / 東京都 / 美術 / 展示「紅櫻公園アートアニュアル 2020」 / 紅櫻公園

張小船 Boat / ZHANG Xiaochuan, Boat / 東京都 / 美術 / 展示「紅櫻公園アートアニュアル 2020」 / 紅櫻公園

高田 K 子 / Takada, Keiko / 他 1 名 / 帯広市 / 美術、その他 / 創作活動、リサーチ、展示・公演

坂口 千秋 / Sakaguchi, Chiaki / 東京都 / 美術 / リサーチ

本田 蒼風 / Honda, Soufu / 他 1 名 / 東京都 / ダンス、映像 / 創作活動

タルヴァンダ / Daruvanda / 秋田県 / 美術 / 創作活動、リサーチ

にしかわ しょう子 / Nishikawa, Shoko / 秋田県 / 美術 / 創作活動、リサーチ

福田 ハジメ / Fukuda, Hajime / 札幌市 / 音楽 / 創作活動

[International Open-Call Program 国際公募 AIR プログラム 2020 - 2021]

オンライン・レジデンシー

2014 年度のさっぽろ天神山アートスタジオ開館以降、毎年冬季に実施していた招聘型 AIR 事業「国際公募 AIR2020」も 2020 年度は招聘される海外拠点のアーティストが日本に来日せず（札幌に来ることなく）さっぽろ天神山アートスタジオとの遠隔共同作業をするオンライン・レジデンシーへと変更されました。

このプログラムの公募に対して、35 ヶ国を拠点とする 38 ヶ国のアーティスト（個人またはグループ）から 101 件の応募が寄せられました。「滞在＜移動＞」型のアーティスト・イン・レジデンス事業の試みとして、招聘アーティストはパンデミックのロックダウンの中で、ソウル市内だけとか、ヨーロッパのいくつかの国と都市などその時点で移動が可能な範囲を移動しながら滞在制作活動を試みました。

選考委員：荒木 悠 / Araki, Yu (アーティスト)

山本 高之 / Yamamoto, Takayuki (アーティスト)

招聘アーティスト



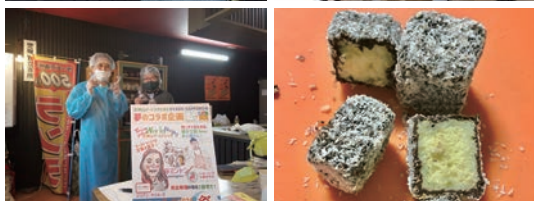
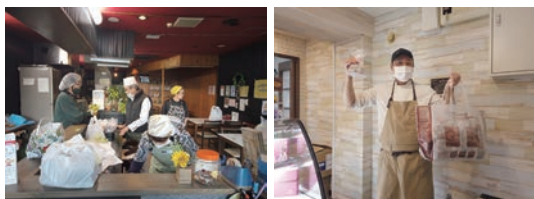
ヒジョン・チェ / Choi, Heejung
韓国、ソウル / 美術



アーロン・マクラフリン / McLaughlin, Aaron
アイルランド生まれ、アムステルダム / オランダ / 美術

2020 10 October

2020年10月7日(水)
イベント / 水曜シェアリング / 談話交流



2020年10月19日(月)
イベント / 天神山文化祭 2020「ワールドレシピコラボ 〜ラミントン〜」こども食堂&菓子工房 Deer / 館外



2020年10月28日(水) - 11月1日(日)
展示 / 染色作品展「あわいをうつす」 / 小島柚穂 / セルフファンディング滞在者 / 展示スペース



スミタ ナツミ / Sumita, Natsumi / 札幌市 / 美術、デザイン / 創作活動

鈴木 泰人 / Suzuki, Yasuhito / 東京都 / 美術 / 展示「鈴木泰人×CoSTEP ソーシャルデザイン実習展」/ SCARTS モール

大園 康司 / Ozono, Koji / 他 2 名 / 東京都 / ダンス / 公演「吉祥寺ダンス LAB Vol.3」 / 吉祥寺シアター

本田 蒼風 / Honda, Soufu / 東京都 / ダンス、映像 / 創作活動

植野 智子 / Ueno, Tomoko / 埼玉県 / 美術、映像 / 創作活動

坂本 公成 / Sakamoto, Kosei / 京都府 / ダンス / ワークショップ「建築とコンタクト 京都 - 札幌」 / あけぼのアート&コミュニティセンター

森 裕子 / Mori, Yuko / 京都府 / ダンス / ワークショップ「建築とコンタクト 京都 - 札幌」 / あけぼのアート&コミュニティセンター

門戸 大輔 / Monko, Daisuke / 京都府 / ダンス / ワークショップ「建築とコンタクト 京都 - 札幌」 / あけぼのアート&コミュニティセンター

[同時期滞在 AIR プログラム]

オンライン・レジデンス

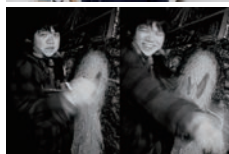
国際公募 AIR プログラムと同期間に日本を拠点とするアーティストを招聘した「滞在<移動>」型のアーティスト・イン・レジデンス事業。招聘アーティストはニュー浴場プロジェクト(永岡 大輔・松本 力)。2名のアーティストは、山形から、もうひとりとは東京から、これまで10年間にわたり通い続けてきた北海道夕張を目指して旅を計画しました。アーティスト・イン・レジデンスとは、移動であり、挫折であり希望でもある変容するだけで終わりがなく、つまりアーティストの創造的活動そのものであることをニュー浴場プロジェクトの時間をかけたプロジェクトが教えてくれました。

招聘アーティスト

ニュー浴場プロジェクト



永岡 大輔 / Nagaoka, Daisuke
神奈川県、山形県 / 美術



松本 力 / Matsumoto, Chikara
東京都 / 美術

2020 11 November

100日間のオンライン・レジデンシーが手探りで始まる。

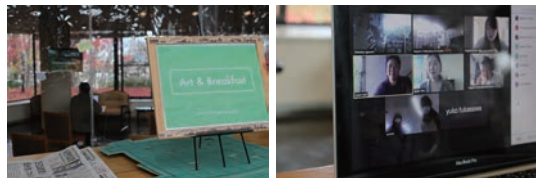
●台湾との交換プログラムに派遣した菅野麻依子は、厳格な隔離期間を経て無事に台湾入りした。●天神山緑地の日本庭園の池の水が抜かれる日に合わせて、繁殖した金魚100匹以上、亀1匹を保護。無事に、希望者へ譲渡することができた。



2020年11月3日(祝)、11月7日(土)、11月8日(日)
ワークショップ / どもプログラム「手紙の中の世界〜絵手紙お待ちしています〜」創作相談会 / 本田征爾 / 展示スペース

2020年11月3日(祝) - 11月29日(日)
展示 / どもプログラム「手紙の中の世界〜絵手紙お待ちしています〜」 本田征爾 作品展示 / 本田征爾 / 展示スペース

2020年11月15日(日)
Art&Breakfast / Art&Breakfast Day11月 / 市民交流事業 / オンライン



2020年11月15日(日)
トーク / A&B 11月アーティストトーク / Sumita, Natsumi / オンライン



三好 紅 / Miyoshi, Hana / 千葉県 / 音楽 / その他

サリー・ラン / Sally, Lunn / 京都府 / 音楽 / その他

伊藤 賢一 / Ito, Kenichi / 東京都 / 音楽 / その他

タルヴァンダ / Daruvanda / 秋田県 / 美術 / 創作活動

福田 ハジメ / Fukuda, Hajime / 札幌市 / 音楽 / 創作活動

野村 有志 / Nomura, Yuji / 大阪府 / 演劇 / 公演「我が生涯、痛恨のダ・カーポ」 / シアター ZOO

野上 祐希 / Nogami, Yuki / 札幌市 / 美術 / 創作活動

シヴ・ブルズ / Bruzeau, Syv / 蘭越町 / ダンス / 講演「佐川君からの手紙」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ (公演中止)

青木 尚哉 / Aoki, Naoya / 東京都 / ダンス / 講演「佐川君からの手紙」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ (公演中止)

大園 康司 / Ozono, Koji / 東京都 / ダンス / 公演「吉祥寺ダンス LAB Vol.3」 / 吉祥寺シアター

雪 雄子 / Yuki, Yuko / 青森県 / ダンス / 講演「佐川君からの手紙」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ (公演中止)

石井 則仁 / Ishii, Norihito / 東京都 / ダンス / 講演「佐川君からの手紙」 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ (公演中止)

スミタ ナツミ / Sumita, Natsumi / 札幌市 / 美術、デザイン / 創作活動

『池の水全部抜く』

管理運営マネジメント / 統括 漆 崇博(一般社団法人 AIS プランニング)

さっぽろ天神山アートスタジオの施設の目の前には天神山緑地が誇る日本庭園がある。見事な植栽もさることながら、そこには大きな池があり、天神山ファンの憩いの空間として愛されている場所だ。2020年、その池にはどこからともなくやってきた金魚の姿が目撃された。彼らがどこからきたのかは誰も知らない。でも、いるのだ。しかも繁殖しているではないか！夏場は、涼しげで風流な雰囲気を出してくれる金魚たち。紅葉が美しい秋を迎え、そろそろ冬の準備が始まった頃問題が起きた。毎年その池は水を抜くのだ。

私たちは急遽庭園を管理している業者の方々と相談。共同で金魚救出作戦を執行することになった。池の水を抜きながら、何匹いるかもわからない大小の金魚を捕獲していく。水を抜ききる前に、金魚を一匹でも多く救出しなくてはならない。

しかしながら、誰かに強制されたわけでも、求められたわけでもないこの作業には、不思議な高揚感と達成感があった。我々アートスタジオスタッフも庭園業者の方々の中にも普段の関係性にはない連帯感が生まれていた。救い出された金魚たちは、その後スタッフの呼びかけによって地域の方々に引き取っていただくことになる。どこからきてどこへいったのか、、、思いがけないプロジェクトへと変容した金魚の存在に改めて思いを馳せる今日この頃である。



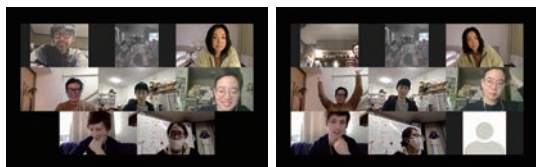
2020 12 December

同時期滞在日本 AIR 招聘ニュー
浴場プロジェクト/永岡大輔が山形
から夕張を目指して歩きはじめる。

●同時期滞在日本 AIR の招聘グループ ニュー浴場プロジェクト/永岡大
輔が山形から夕張を目指して歩き始める。●計画されていた札幌国際芸
術祭 SIAF2020 が開催中止となった。●交換プログラムパートナー、ア
ートスペース Barim と共同で招聘アーティスト公募を実施。

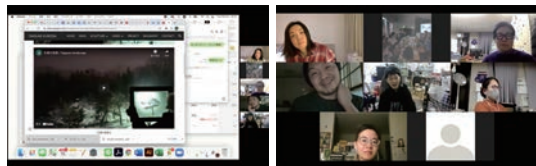
2020 年 12 月 2 日 (水)

イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2020 年 12 月 9 日 (水)

イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2020 年 12 月 16 日 (水)

イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2020 年 12 月 20 日 (日)

Art&Breakfast / Art&Breakfast Day12 月 / 市民交流事業 / オンライン

2020 年 12 月 20 日 (日)

ワークショップ / A&B 12 月 ワークショップ / 千葉麻十佳 / オンライン



2020 年 12 月 23 日 (水)

Art&Breakfast / 水曜シェアリング / オンライン



2020 年 12 月 24 日 (木) - 2021 年 1 月 17 日 (日)
展示 / こどもプログラム「手紙の中の世界〜絵手紙お待ちしていま
す〜」絵手紙展示 / 本田征爾 / 展示スペース

千葉 麻十佳 / Chiba, Madoka / 札幌市 / 美術 / 2020 年度国際公
募プログラムコーディネーター

タリク・ルディグ / Ruedig, Tarik / 八雲町 / 美術、音楽、写真
/ 創作活動

戸谷 文香 / Toya, Ayaka / 愛知県 / 美術 / 創作活動、リサーチ

ヨギー・チャン / Chan, Yogi / 埼玉県 / 音楽、演劇 / 創作活動

小林 大賀 / Kobayashi, Taiga / 札幌市 / 美術 / 創作活動、リサーチ

長坂 有希 / Nagasaka, Aki / 大阪府 / 美術 / リサーチ

浅井 真理子 / Asai, Mariko / 埼玉県 / 美術 / リサーチ

[交換 AIR プログラム 台湾]

オンライン・イベント

2018 年度から 1 年ごとに相互にアーティストを派遣する交換
プログラムを台湾・台東の Dawn Artists Village と行っています。
派遣アーティスト菅野麻依子が約 1 ヶ月間の台湾現地での滞在制作
活動を行いました。感染状況が厳しかった日本とは違い、その
当時の台湾は感染を抑え込み 2020 年 1 月以前のように人々がマスク
なしで集い生活しているという状況をプログラム最後の 12 月 22 日
(火) に台東現地からアーティスト・トークで伝えてくれました。



派遣アーティスト

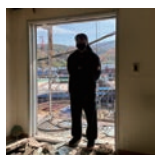
菅野 麻依子 / Sugano, Maiko

茨城県 / 美術

[交換 AIR プログラム 韓国]

オンライン・レジデンス

2019 年度に共同のプロジェクトを実現するためにスタートした
韓国・光州のアートスペース Barim とは、お互いの往来が制限
されているためにオンライン・レジデンスを実施することにな
りました。共同で韓国拠点のアーティスト公募を行い、2 名のア
ーティストが選ばれました。この状況でなにを交換しあうのかと
意見交換を行い、アートスペース Barim のディレクター ミンヒョン・
カンと "white letters" という往復書簡のようなプロジェクトを
立ち上げました。



招聘アーティスト

ユジン・ジョン / Jung, Eugene

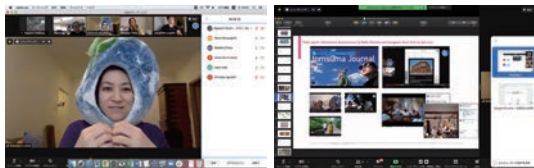
韓国 / 美術



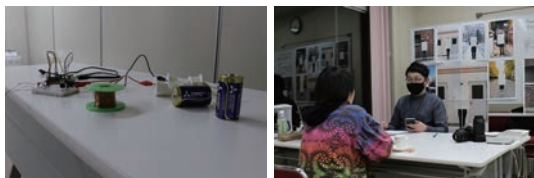
ジェハ・バン / Ban, Jaeha

韓国 / 美術

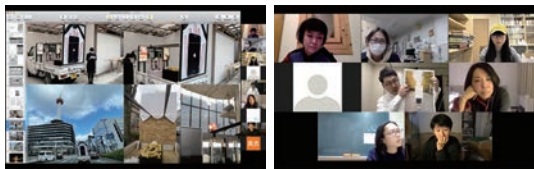
2021 01 January



2021年1月6日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2021年1月10日(日)
イベント / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
オープンスタジオ / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 交流スタジオ A



2021年1月13日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン

2021年1月17日(日)
イベント / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
オープンスタジオ / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 交流スタジオ A

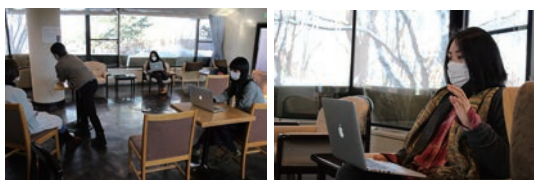
2021年1月20日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン

2021年1月24日(日)
イベント / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
オープンスタジオ / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 交流スタジオ A

2021年1月27日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン

2021年1月31日(日)
Art&Breakfast / Art&Breakfast Day1 月 / 市民交流事業 / オンライン

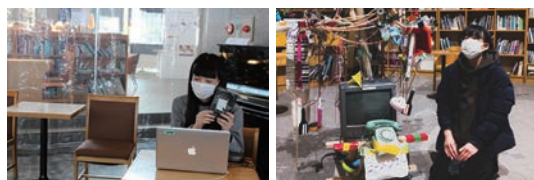
2021年1月31日(日)
トーク / A&B 1月アーティストトーク / 戸谷文香 / オンライン



2021年1月31日(日)
イベント / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
オープンスタジオ / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 交流スタジオ A

北海道のアーティストを対象にした招聘型 AIR
「みせたこともなく、みたこともない」が始まる。

韓国との交換プログラム招聘アーティスト(ユジン・ジョン、ジェハ・パン)
もオンライン・レジデンスへの参加になった。



千葉 麻十佳 / Chiba, Madoka / 札幌市 / 美術 / 2020 年度国際公募プログラムコーディネーター

阿部 大介 / Abe, Daisuke / 東京都 / 演劇 / 公演「ありあけ」 / シアター ZOO

戸谷 文香 / Toya, Ayaka / 愛知県 / 美術 / 創作活動、リサーチ

タルヴァンダ / Daruvanda / 札幌市 / 美術 / 創作活動

タリク・ルディグ / Ruedig, Tarik / 八雲町 / 美術、音楽、写真 / 創作活動

真砂 雅喜 / Masago, Masayoshi / 札幌市 / 美術 / SBALC 事業アーティスト・イン・レジデンスプログラム「みせたこともなく、みたこともない」招聘アーティスト

岡 碧幸 / Oka, Miyuki / 札幌市 / 美術 / SBALC 事業アーティスト・イン・レジデンスプログラム「みせたこともなく、みたこともない」招聘アーティスト

川崎 勇人 / Kawasaki, Yuto / 東京都 / 演劇 / 公演「北緯 43° のリア」 / 札幌芸術文化劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

泉 陽二 / Izumi, Yoji / 愛知県 / 演劇 / 公演「北緯 43° のリア」 / 札幌芸術文化劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

泉 舞 / Izumi, Mai / 愛知県 / 演劇 / 公演「北緯 43° のリア」 / 札幌芸術文化劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

納谷 真大 / Naya, Masatomo / 富良野市 / 演劇 / 公演「北緯 43° のリア」 / 札幌芸術文化劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

森上 千絵 / Morigami, Chie / 富良野市 / 演劇 / 公演「北緯 43° のリア」 / 札幌芸術文化劇場 hitaru クリエイティブスタジオ

野上 祐希 / Nogami, Yuki / 札幌市 / 美術 / 創作活動

ヘーゼル・ウォン・メイ・イン / Wong Mei Yin, Hazel / 札幌市 / 美術 / 創作活動

小林 大賀 / Kobayashi, Taiga / 札幌市 / 美術、映像、デザイン / 子どもの文化芸術体験事業おとどけアート / 札幌市立西岡南小学校

坂口 千秋 / Sakaguchi, Chiaki / 東京都 / 美術 / 2020 年度国際公募プログラムコーディネーター

坂本 公成 / Sakamoto, Kosei / 京都府 / ダンス / 創作活動、リサーチ

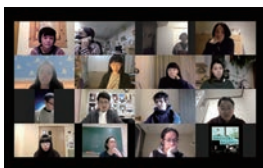
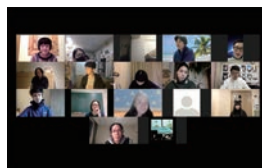
森 裕子 / Mori, Yuko / 京都府 / ダンス / 創作活動、リサーチ

2021

02

February

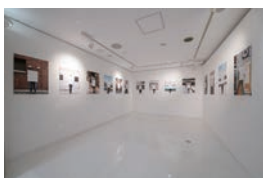
雪がどっさり



2021年2月3日(水)
イベント / 水曜シェアリング / 談話交流

2021年2月7日(日)
イベント / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
オープンスタジオ / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 交流スタジオ A

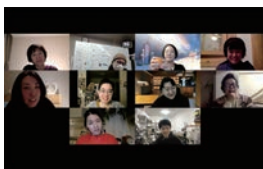
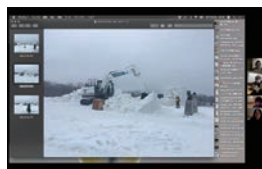
2021年2月10日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2021年2月13日(土) - 2月14日(日)
展示 / AIR プログラム「みせたこともなく、みたこともない」
滞在制作活動報告会 / 岡 碧幸、真砂 雅喜 / 展示スペース

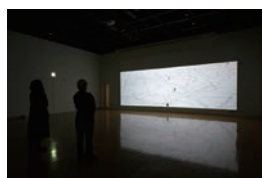


2021年2月14日(日)
イベント / オープンスタジオ / 千葉 麻十佳、Wong Mei Yin
Hazel / ウォン・メイ・イン・ヘーゼル / セルフファンディング
滞行者 / 滞在スタジオ

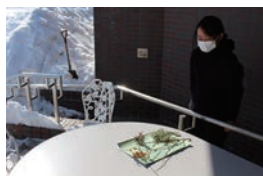


2021年2月17日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン

2021年2月24日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2021年2月26日(金) - 28日(日)
展示 / 展覧会とワークショップ「tracing homes」 / 潘 逸舟 /
モエレ沼公園 ガラスのピラミッド スペース 1



秋江 智文 / Akie, Tomofumi / 埼玉県 / 演劇 / その他

北山 恵子 / Kitayama, Keiko / 東京都 / 写真 / 創作活動

坂口 千秋 / Sakaguchi, Chiaki / 東京都 / 美術 / 2020 年度国際公
募プログラムコーディネーター

ミヤジ / Miyaji / 三重県 / 美術 / 2020 年度国際公募プログラムイ
ンストララー

潘 逸舟 / Han, Ishu / 東京都 / 美術 / 2020 年度再招聘成果発表
プログラム招聘アーティスト

タリク・ルディグ / Ruedig, Tarik / 八雲町 / 美術、音楽、写真
/ 創作活動

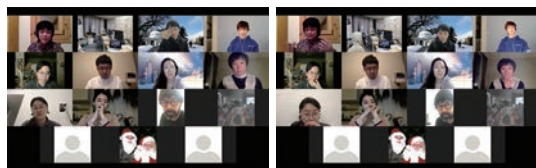
篠崎 芽美 / Shinozaki, Meme / 東京都 / ダンス / 創作活動

福田 ハジメ / Fukuda, Hajime / 札幌市 / 音楽 / 創作活動



2021
03
March

オンラインに翻弄された1年間が終了。



2021年3月3日(水)
イベント / 水曜シェアリング / オンライン



2021年3月3日(水) - 3月14日(日)
展示 / 国際公募 AIR プログラム 活動成果報告 / Choi, Heejeung /
ヒョン・チェ、McLaughlin, Aaron / アーロン・マクラフリン
/ 国際公募プログラム / 展示スペース、和室

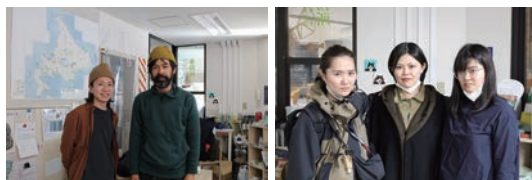


2021年3月5日(金)・2021年3月12日(金)
市民交流事業 施設外 / ヒョン・チェ 映像作品上映 / Choi, Heejeung
/ ヒョン・チェ / 国際公募プログラム / 大通公園西6丁目ステージ



2021年3月13日(土)
イベント / White Letters トーク・イベント (オンライン)
Barim / 天神山交換プログラムプログラム成果発表 / ネットワーキ
ング滞在者 / オンライン

2021年3月14日(日)
イベント / AIR プログラムオンラインお疲れさまで会 / オンライン



永岡 大輔 / Nagaoka, Daisuke / 神奈川県 / 美術 / 2020年度同時
期滞在日本 AIR プログラム招聘アーティスト

升谷 絵里香 / Masuya, Erika / 千葉県 / 美術 / 創作活動、リサーチ

御忙人 / Miboujin / 3名 / 札幌市 / 音楽 / 創作活動

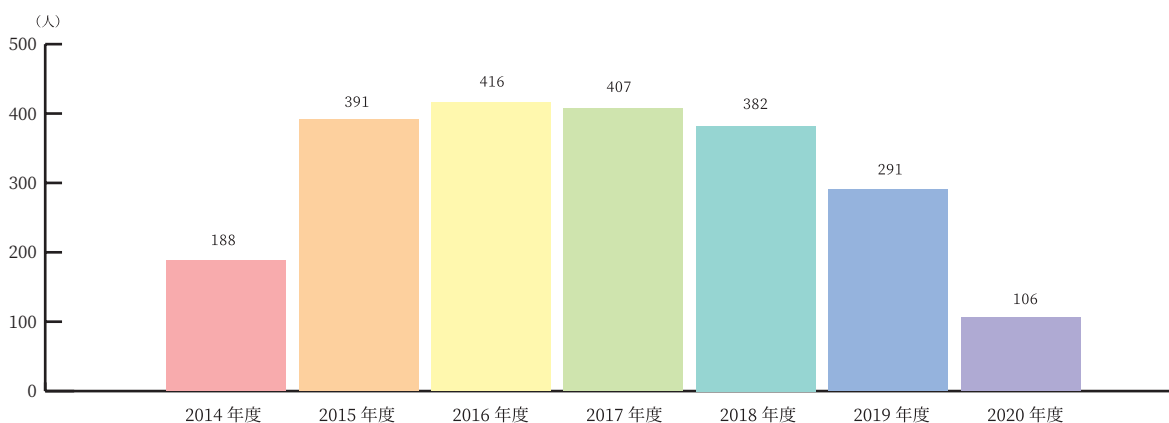


データでみるさっぽろ天神山アートスタジオ

さっぽろ天神山アートスタジオは、開館準備期間当時、市内には類似した施設がなかったため、既存の貸室施設の運用手順を参考に設計がなされました。それは利用を希望する人が札幌市に対して申請書を提出する手順であり、結果的に2014年度5月の開館以来、施設を利用した人のデータが蓄積されています。これは札幌市が施設を介して創造的活動をする人を支援した実績です。また、2016年度からこれらの「滞在者データ」を翌年度の施設運営、利用促進の手法を検討する資料として活用、同時に、アーティスト・イン・レジデンス拠点としての傾向や特徴を分析する材料にしています。2020年度がこれまで（2014-2019年度）とは違う様相であることを示すために、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2018年度との比較を掲載しています。

1. 滞在スタジオ延べ利用者数の変遷

日本国内のAIR拠点の多くは招聘型事業を行っています。さっぽろ天神山アートスタジオは、アーティストが滞在日数、時期、活動内容を組み立て自己資金で滞在制作を行うセルフファンディング・プログラムを積極的に受け入れる運営設計により、日本国内の他の拠点よりも滞在アーティストの数が多い傾向にあります。また、2020年度は新型コロナウイルス感染症により移動制限の影響を強く受け、利用者数に大きな減少がみられました。



※注

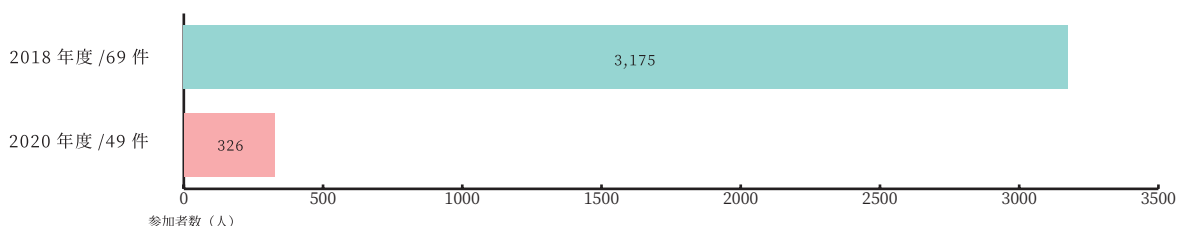
2019 年度：改修工事の為休館、滞在スタジオ受入停止（①2019/7/1-7/16 ②2019/9/1-10/31）

2020 年度：新型コロナウイルス感染拡大の影響により休館、滞在スタジオ受入停止

（2020/4/14-5/31 休館、2020/7/10- 滞在スタジオ受入再開）

2. イベント件数と参加者数

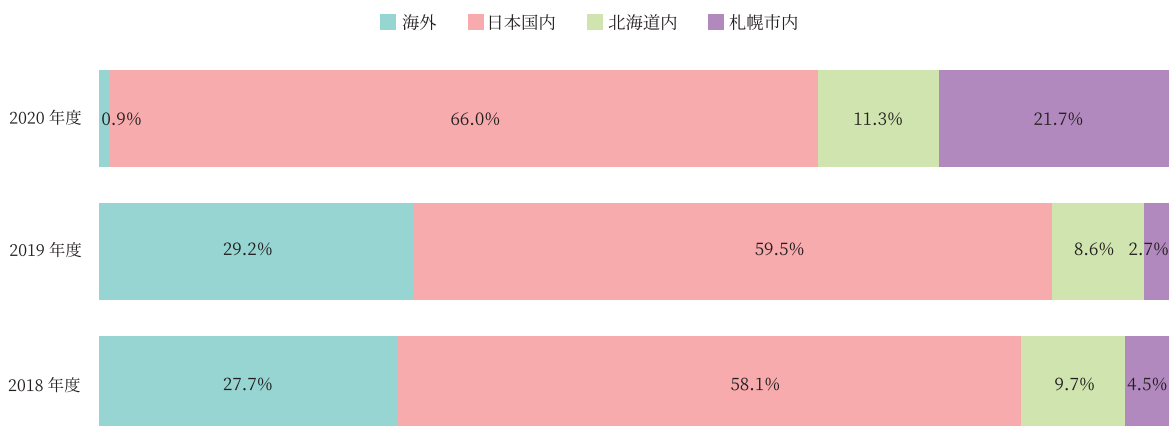
AIR 拠点は、滞在アーティストを支援する目的であるため、滞在したアーティストの数（またはそれ以上）の活動、作品やプロジェクトが数年にわたって自然に生成されます。この営みを促進するため、また滞在アーティストと地域（札幌）との接続を促すために多様な事業が企画され年間を通じて多数のイベント・プログラムが実施され、日常的に「なにかやっている」という場の特徴を創り出してきました。図表からは、パンデミック前と後の変化を見ることができます。



3. 滞在アーティストの活動拠点推移

2014 年度の開館以降、滞在アーティストの活動拠点は、海外が約 3 割、国内が約 7 割で安定していました。2020 年度は、前年度から滞在を開始していたもののパンデミックのため帰国できなくなった 1 名を除いて海外からのアーティストの滞在はありませんでした。札幌市は、海外から一般観光目的の入国制限が解除されるまでの当面の間、さっぽろ天神山アートスタジオでは海外を拠点とするアーティストの利用を停止することにしました。

活動拠点 推移 (2018 - 2020 年度)

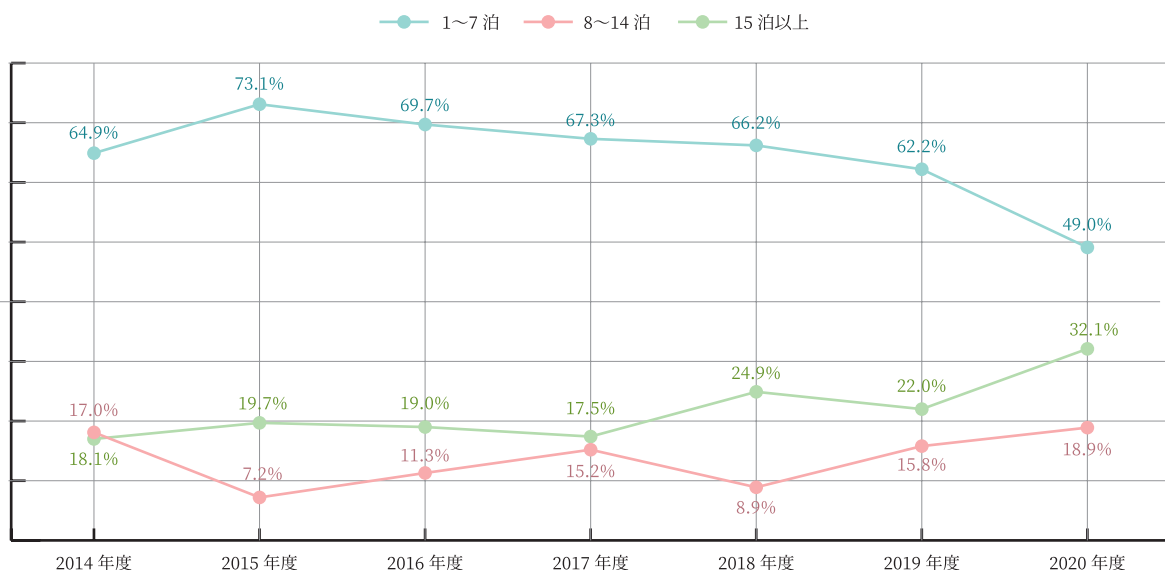


4. 滞在日数の推移

国内にある多くの AIR 拠点とさっぽろ天神山アートスタジオが大きく異なる点は、最短の滞在期間が 1 日単位で設定されている点です。この設定により国内ほかの AIR 拠点よりもアーティストの利用頻度、往来件数が多くなっています。まちづくりの観点では、繰り返し訪問する人、往來を繰り返す人である「交流人口」を増やすことが地域活性化に効果があるといわれているため、さっぽろ天神山アートスタジオが交流人口増加に貢献しており、地域活性化に寄与していると捉えることができます。

また、推移データからは、滞在アーティストの傾向は 1 週間以内の短期的な滞在から 15 泊以上の中期的な滞在へとだんだんに推移しているのがわかります。滞在するアーティストの活動の質は単純に「滞在時間・滞在期間」に比例するものではありませんが、拠点運営をしている現場感覚では、短い滞在よりも長めの滞在の方が地域との接続、アーティストの活動ボリュームがより大きくなることを実感しています。

滞在日数割合 推移 (2014 - 2020 年度)



5. 滞在アーティストの拠点（市内・道内・国内・海外）と滞在日数

ここでは、さっぽろ天神山アートスタジオに滞在したアーティストがどの地域から来訪したのか、また、どのくらいの日数滞在していたのかをみることができます。

2018 年度

活動拠点	延べ利用者数	滞在日数：1-7泊 - 8-14泊 - 15泊以上、() は実数		
海外	28%(107)	1-7泊 :34%(36)	8-14泊 :14%(15)	15泊以上 :52%(56)
日本国内	59.7%(228)	1-7泊 :79%(180)		8-14泊 :8%(18)、15泊以上 :13%(30)
北海道内	9.9%(38)	1-7泊 :76%(29)		8-14泊 :3%(1)、15泊以上 :21%(8)
札幌市内	2.4%(9)	1-7泊 :67%(6)		15泊以上 :33%(3)
合計	100%(382)			

2020 年度

活動拠点	延べ利用者数	滞在日数：1-7泊 - 8-14泊 - 15泊以上、() は実数		
海外	0.9%(1)	15泊以上 :100%		
日本国内	66.1%(70)	1-7泊 :54%(38)	8-14泊 :22%(15)	15泊以上 :24%(17)
北海道内	11.3%(12)	1-7泊 :50%(6)	15泊以上 :50%(6)	
札幌市内	21.7%(23)	1-7泊 :35%(8)	8-14泊 :22%(5)	15泊以上 :43%(10)
合計	100%(106)			

6. 滞在アーティストの利用目的（AIR、市内ほか事業運営者の招聘、天神山事業招聘）と滞在日数

2018 年度

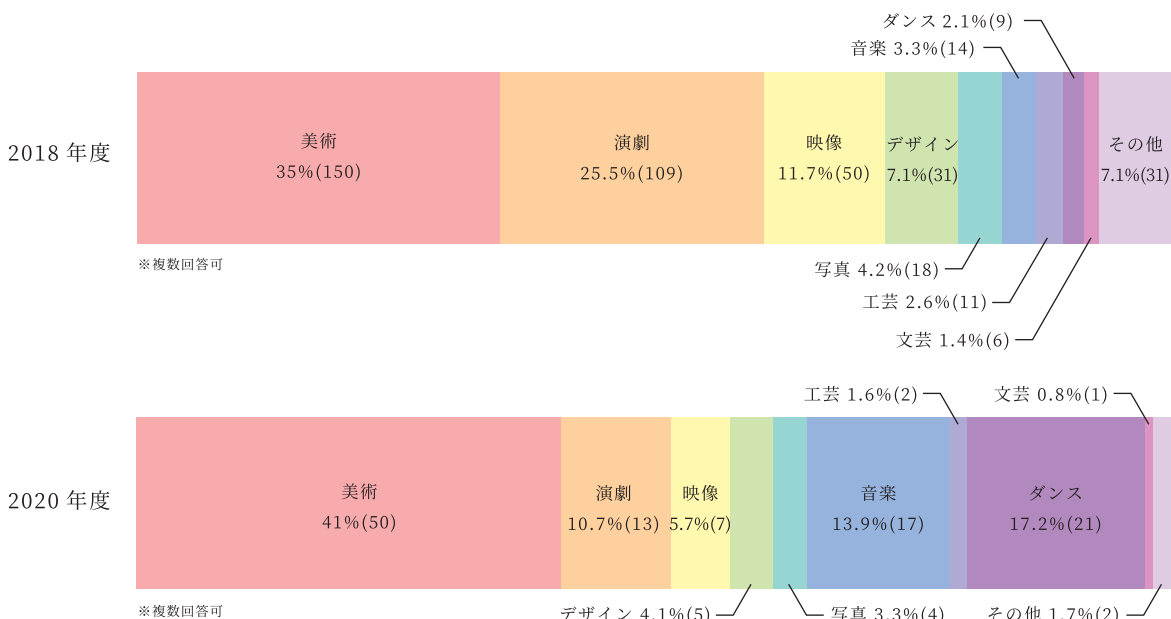
利用目的	延べ利用者数	滞在日数：1-7泊 - 8-14泊 - 15泊以上、() は実数		
AIR	64.4%(246)	1-7泊 :68%(168)	8-14泊 :9%(23)	15泊以上 :23%(55)
市内ほか	25.1%(96)	1-7泊 :67%(64)	8-14泊 :8%(8)	15泊以上 :25%(24)
天神山事業	10.5%(40)	1-7泊 :45%(18)	8-14泊 :8%(3)	15泊以上 :47%(19)
合計	100%(382)			

2020 年度

利用目的	延べ利用者数	滞在日数：1-7泊 - 8-14泊 - 15泊以上、() は実数		
AIR	63.2%(67)	1-7泊 :48%(32)	8-14泊 :25%(17)	15泊以上 :27%(18)
市内ほか	28.3%(30)	1-7泊 :57%(17)	8-14泊 :6%(2)	15泊以上 :37%(11)
天神山事業	8.5%(9)	1-7泊 :33%(3)	8-14泊 :11%(1)	15泊以上 :56%(5)
合計	100%(106)			

7. 滞在アーティストの主な活動分野

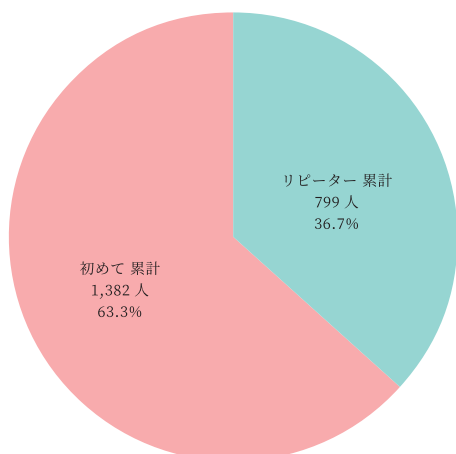
さっぽろ天神山アートスタジオは、特定の分野のための専用設備・環境を持っていません。それは、文化芸術分野のすべての活動分野のアーティスト・関係者を支援対象として受け入れるためです。様々なジャンルのアーティストが同時期に滞在している状況が生まれ、偶発的に異なる活動分野のアーティスト同士が出会う「機会と場」となりました。この状況を求めてアーティストが滞在を希望するというケースもありました。



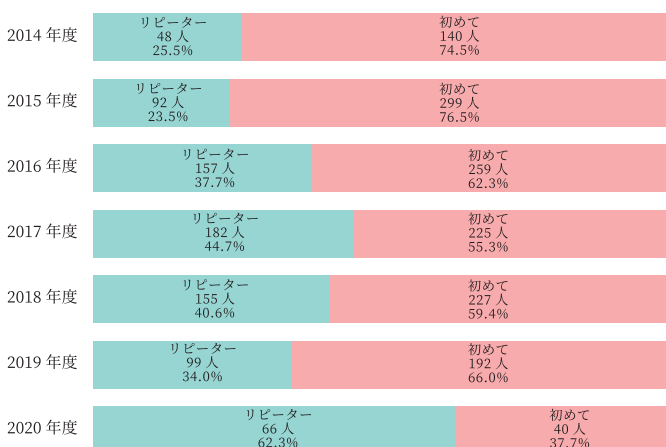
8. 2014-2020 年度 滞在スタジオ延べ利用者数におけるリピーターの割合

これまでの日本の AIR 拠点・事業はひとりのアーティストが一度の滞在期間中にリサーチ・制作・発表までのプロセスを行う招聘型ワンタイムプログラムが主流でした。しかしながら、前述の通りさっぽろ天神山アートスタジオでは、アーティストが滞在日数、時期、活動内容を組み立て自己資金で滞在制作を行うセルフファンディング・プログラムを積極的に受け入れる運営設計をすることができたため、数回、または数年にわたって複数回滞在して作品やプロジェクトを発表段階まで昇華させるアーティストも複数出現しました。またこのような複数回の往来と滞在中、アーティストは地域（札幌とその周辺）との関係性を温め、同スタジオに限らず札幌市内で発表の機会を得て自身のキャリア、創造的活動の質を高めることができました。同時に、アーティストの発表機会は、札幌市民に向けた鑑賞機会となります。リピート滞在中のアーティストの存在感が大きいことは、さっぽろ天神山アートスタジオの特出すべき特徴であり、従来のワンタイム型 AIR の可能性を拡張した動向だといえます。

2014-2020 年度累計 延べ利用者数におけるリピーター数割合



2014-2020 年度ごとの延べ利用者数とリピーター数割合推移



天神山文化祭 ONLINE

開催期間：2020/9-12



●いけばな展示 早坂 典子 (はなの會) @ 展示スペース

●地域 (南平岸) とのコラボレーション企画

1) ～マドゥ・ダスのチャイ～ @ 奥田 泰永 / ゲストハウス OYADO SAPPORO

2) ～ジリアンのラミントン～ @ 南平岸商店街振興組合運営 こども食堂お弁当

●オンライン動画配信

1) いけばな展示風景

2) シルベストレ・バルガスのサルサダンス



『猫も杓子もオンラインだが』

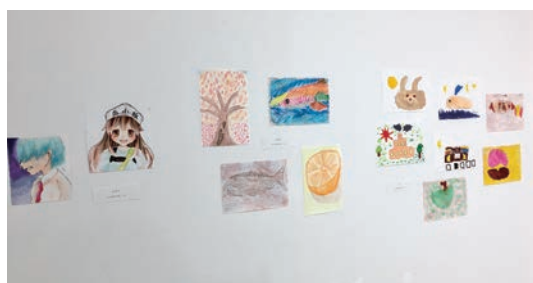
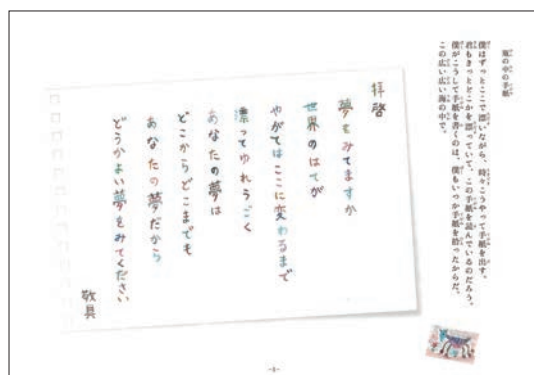
小林 亮太郎 (さっぽろ天神山アートスタジオ)



2020年の天神山文化祭は集客イベントの中止に伴い、オンラインで実施する事となった。これまでは滞在アーティストによる作品紹介、有志によるワークショップ、地元のまちづくり会や商店街振興組合、区役所職員といった様々な個人・団体が運営を担いながら、当日のお客さんと入り乱れ一堂に会するという年に1度の壮大なお祭りだっただけに、中止の決定は残念な思いだった。オンライン開催、といっても個別のイベントを撮影・編集し、動画をホームページ上に載せるというもので、毎年あの混沌さ(様々な企画を無理矢理に一日に組み込む強引なやり方)に慣れ親しんだ身としては、なんとも「やった!! (やっと終わった!!)」という実感のない活動となった。また新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当初予定していた幾つかの企画も撮影中止となり、それも寂しさを上書きする要因となった。ただ、これまでと異なるやり方を試したことで実感したこともある。「映像」というのは画像以上に必須の手段になると思ったし、ひとつの活動を丁寧に紹介(記録)する事もおざりにはしてはならない。(実際オンライン企画に参加してもらった方々は高評価を頂いた。)猫も杓子もオンラインで「なんか嫌だな」と思いながらも、世の中の状況が変わったという事を素直に認め、新しいやり方を模索しなければ、簡単に時代に置いてけぼりにされ「あの何言ってるの?」状態に陥ると容易に想像がつくので、日々の更新が何より大切なんだと、天神山文化祭でのオンラインプログラム運営を通じて学ばせて頂きました。

子どもプログラム「手紙の中の世界」

開催期間：2020/10/1（木）-2021/1/17（日）



<創作ガイドブック（小冊子）・インタビュー動画・
絵手紙作品集（小冊子）がご覧いただけます>



作品募集：10/1（木）-11/30（月）

創作相談会：11/3（祝）、11/7（土）、11/8（日）

絵手紙展示：2020/12/24（木）-2021/01/17（日）

講師：本田 征爾

『手紙の中の世界』

小林 大賀（さっぽろ天神山アートスタジオ）

例年、大人数のワークショップを開催し、アーティストと子どもたちの出会う場を作ってきたアートキャンプ。コロナ禍の中で2020年度はどのように開催できるかから考えねばならず、試行錯誤の連続となった。これまではアーティスト主導で企画内容を決めていたが、2020年度は天神山のスタッフで企画の大枠を設定し、それに合うアーティストを探すという流れになった。浮かんできたアイデアは「ファンタジーキャンプ」。外出もままならない日々の中でこそ空想力を刺激するような企画が活きるのではないかと考えた。参加者がガイドブックを参考にしながら絵と文章でそれぞれの世界観を作っていくリモート作業を想定し、絵手紙作品の募集を行うという流れとなった。参加作家は幻想的な絵やオブジェの作品で知られている本田征爾さんに依頼をし、引き受けていただいた。本田さんの協力のもと制作した「創作ガイドブック」を小中学校や各施設に配布しつつ、会期後半に少人数でのワークショップも開催した。その後、参加者から集まった絵手紙作品はWebサイトで公開し、展覧会を開催した。ワークショップでは本田さん、参加者共に黙々と筆を走らせる姿が印象的だった。言葉少ない中でもお互いに影響あってモチーフが変わったり、新しい画材やタッチを試していく様を見ていると、空間を共有していること、一緒に何かをやること自体の熱量を改めて感じさせられた。個々の世界観を追求するというのは、子ども向け交流プログラムとしてこれまでにない試みだったが、これもまた平時ではない状況下で生まれたアプローチと言えるのかもしれない。